

令和元年度中学生チャレンジテスト

第3学年 国語

注意

- 1 調査問題は、1ページから26ページまであります。先生の合図があるまで、調査問題を開かないでください。
- 2 解答はすべて解答用紙⑥（国語）に記入してください。
- 3 解答は、HBまたはBの黒鉛筆（シャープペンシルも可）を使い、濃く、はっきりと書いてください。また、消すときは消しゴムできれいに消してください。
- 4 解答を選択肢から選ぶ問題は、解答用紙のマーク欄を黒く塗りつぶしてください。
- 5 解答を記述する問題は、指示された解答欄に記入してください。また、解答欄からはみ出さないように書いてください。
- 6 解答用紙は、オモテ、ウラがあります。
- 7 解答用紙の「生徒記入欄」に、組、出席番号を記入し、マーク欄を黒く塗りつぶしてください。
- 8 調査時間は45分です。

左に、生徒アンケートが二問あります。先生の指示に従って、調査開始前に取り組んでください。アンケートの回答は解答用紙のアンケート欄のマーク欄を黒く塗りつぶしてください。

アンケート

次のアンケートを読んで、当てはまるもの一つずつ選びなさい。

- (1) 国語の授業の内容はよく分かる。……………①
- (2) 国語の授業で自分の考えを書くとき、考えの理由が分かるように気をつけて書いている。……………①

①	当てはまる
②	どちらかといえは、当てはまる
③	どちらかといえは、当てはまらない
④	当てはまらない

問題は、次のページから始まります。

☐ 次の1～4の問いに答えなさい。

1 書道展に行書の作品を出すため、中川さんが書いた【作品A】について班で助言し合いました。中川さんはいくつかの助言を取り入れて、【作品B】を書きました。あとのア～エのうち、次の【作品A】と【作品B】を比べて、助言として取り入れられていないものを一つ選びなさい。

【作品A】

いろは歌



【作品B】

いろは歌

- ア 行書の文字は点画を省略して書くほうがいいよ。
- イ 行書の文字は点画を連続して書くほうがいいよ。
- ウ 行書の文字は丸みをもたせて書くほうがいいよ。
- エ 行書に調和する仮名は終筆を変化させて書くほうがいいよ。

2 次の①～③の文中の——線部の漢字の正しい読みを、ひらがなでいねいに書きなさい。

- ① 心を奮い立たせる。
- ② 詳細な説明をする。
- ③ 課題曲を伴奏する。

3 次の①～③の文中の——線部のカタカナを文の内容に合うように、漢字に直し楷書かいしよでいねいに書きなさい。

- ① 海岸にソつた道を散歩する。
- ② お菓子をキントウに分ける。
- ③ 校庭に桜をシヨクジュする。

4

次の①、②の文中の 、 に入る言葉として最も適しているものは、それぞれのア～エのうち、どれですか。一つずつ選びなさい。

① 昨日、私は担任の先生に大会の結果を 。

ア お伝えになりました

イ お伝えなされました

ウ お伝えられました

エ お伝えしました

② 彼がまじめな人物であることは、 だ。

ア 折り紙切り

イ 折り紙付き

ウ 折り紙巻き

エ 折り紙貼り

問題は、次のページに続きます。

【二】 田中さんは、国語の授業で配られた構想プリントをもとに物語を創作しました。田中さんが書いた次の【構想プリント】、【場面三】、【場面四】を読んで、あとの問いに答えなさい。

【構想プリント】

次の《イラスト》をもとに物語を創りましょう。

《イラスト》



【A】 《イラスト》から分かることと想像したことを書きましょう。

《イラスト》から分かること	分かることから想像したこと
・二人の人がいる。	・友だちだろうか。
・ <input type="text" value="I"/> 。	・会話をしていないのかな。仲良しでないのかな。
・半そでの服を着ている。	・季節は夏かな。
・荷物は持っていない。	・近くに行くみたい。
・人の影が短い。	・晴れているみたいだ。時刻は昼ごろかな。
・道は整備されている。	・人が多く行くところかな。
・道の両側に、木や草が生えている。	・山の中の道かな。

B **A** をもとに、想像を膨らませ、物語の山場の出来事（事件）を考えましょう。

山登りの途中で、晴れていた天候が急変する。

C **A**、**B** から必要な材料だけを整理して、物語の設定を考えましょう。

〔いつ〕

夏 晴天の日の昼近く

〔どこで〕

学校のそばにある山に登る道の途中

〔誰が〕

幼なじみであり、親友どうしの中学二年生

みらい || 活発で明るい性格

のぞみ || 素直で優しい性格

〔どうした〕

仲良しの二人がけんかをする。みらいはよく語り合った山で仲直りをするため、のぞみを誘う。途中で雨が降ってくるが、やがて晴れて、二人は山頂で仲直りができる。

D 四つの場面に分けて、あらすじを書きましょう。

〔場面一〕

親友どうしと自他ともに認め合う、仲良しのみらいとのぞみが、些細なことからけんかをする。

〔場面二〕

のぞみが転校することを知ったみらいは、仲直りをするため、思い出のある山頂にのぞみを誘う。

〔場面三〕

天候が変わり、激しい雨が降ってきたが、みらいは、山登りを続けようとする。

〔場面四〕

II

E あらすじをもとに、物語を書きましょう。

【場面三】

「あつ、雨が降ってきた。」

みらいはつぶやいた。うす暗くなっていた空から、大粒おおつぶの雨が落ちてきた。

ふと、みらいは振り返る。のぞみは止まっていた。みらいは視線を送る。やがて、のぞみは、少しずつ、そしてゆっくりと近づいてきた。みらいが話しかけようとした瞬間、のぞみが言った。

「雨だよ。このまま行くの。」

「……うん。意味がないんだ、登らないと。」

「みらいは、どうして登ることにこだわるの。」

みらいは無言で山頂の方角を見つめた。

【場面四】

しばらくしてから、ようやく、みらいは重い口を開いた。

「景色を見ながら……山の上で……仲直りを……。」

のぞみは、はっとした。みらいが顔を向けた。視線が合ったのぞみは、みらいを力づけるように言った。

「行こう。きつといつもの景色を見ることが出来るよ。」

いつの間にか、雨は弱くなっていた。二人は、山頂をめざし、しっかりと、でも軽かるやかに坂を登っていく。山頂へ着いたころには雨はやんでいて、以前と変わらない景色が見えたとき、のぞみが言った。

「ほら、見て。」

みらいは、のぞみの視線の先を見た。いくつもの雲間から、金色の帯がまっすぐ大地に届いていた。

1 田中さんは、【構想プリント】中の[A]で《イラスト》から分かることと想像したことを書きました。田中さんが【構想プリント】中の[A]のIに書いたと考えられる言葉を、十字以内で書きなさい。

2 田中さんは、【場面三】を創作するにあたって、読者に与える効果を意識し、表現を工夫しました。田中さんが意識した、読者に与える効果とその表現の工夫として最も適しているものを、次のア～エから一つ選びなさい。

- ア 印象が強くなるように、同じ言葉を繰り返す手法を用いた。
- イ 印象が鮮明になるように、たとえを使う手法を用いた。
- ウ 文の意味が強まるように、語順をかえる手法を用いた。
- エ 余韻よいんが残るように、体言で止める手法を用いた。

3 田中さんは情景描写を用いて、読者に登場人物の心情が伝わるように工夫して書いています。【場面四】中の――線部は、どのような心情を表現しようとして書いた情景描写だと考えられますか。次のア～エのうち、最もふさわしいものを一つ選びなさい。

- ア 愛着
- イ 希望
- ウ 悲痛
- エ 不安

4 田中さんは、【場面三】から【場面四】への転換が読者に分かるように、【場面四】の書き出しを工夫しています。

田中さんが工夫したことについて説明した次の文の に入る適切な言葉を、漢字二字で書きなさい。

書き出しの文で、【場面三】と【場面四】の間で が経過したことを分かるように書いている。

5 田中さんは、【場面四】を【構想プリント】中のあらすじをもとに書きました。【構想プリント】中の

II

に、田中さんが書いたと考えられるあらすじを、次の条件に従って書きなさい。

条件1 【場面四】の内容にもとづいて書くこと。

条件2 気持ち、景色という二つの言葉を使うこと。

条件3 五十字以内の一文で書くこと。

☐ 意見箱に寄せられた次の【意見】について、図書委員長である古田さんと図書委員二人が【話し合い】をしています。次の【意見】、【話し合い】を読んで、あとの問いに答えなさい。

【意見】

図書委員会へ

先日、今話題のオリンピックに関する本を学校の図書館で探したのですが、さまざまな分野の本棚ほんだなに置かれていたので、見つけるのにとても時間がかかりました。

その時々話題に関する本が、もっと簡単に見つけられるように工夫してはどうでしょうか。

ご検討をお願いします。

【話し合い】

古田さん

今日は意見箱に寄せられた意見について話し合います。【意見】の内容は「その時々話題に関する本が簡単に見つけられるように工夫してはどうか」とのことですが、図書委員会として、どのような活動ができるのでしょうか。みなさんの考えを聞かせてください。

森本さん

【意見】には「見つけるのに時間がかかった」とあります。①図書館では、区分表をもとにして本を整理していますが、区分表を覚えていない人は本を探しにくいですね。

黒川さん

区分表を覚えていても、探している本がどの区分にあるのかが見つけにくいものもあります。たとえば、先日、野球の練習方法に関する本はどの区分にあるのか、とたずねられたことがありました。スポーツの練習方法の本は、「芸術・美術」の区分から探さなければいけません。私たちの学校で使っている区分表では、「芸術・美術」の区分までしか示されていませんが、区分ごとに細かい表を加えれば「スポーツ」などを示すことができます。探している本を見つけやすくするために、区分表の区分ごとに細かい表を加えてはどうでしょうか。

西山さん

黒川さんの言う通り、探したい本の内容が決まっていれば、細かい表を加えることで探しやすくなると思います。しかし、②細かい表を加えるだけでは解決しない人もいると思います。なぜなら、私も【意見】を書かれた人と同じように、テーマしか決まっていなくて本を探すことがあるのですが、探したい本の内容が決まっていけないので、区分表をもとにして探すことができません。たとえば、「オリンピックに関する本」は歴史の区分にもありますが、産業の区分にもあり、探したい本の内容まで決まっていない人は、いろいろな区分から一冊一冊、本を探さなければいけません。探したい本の内容まで決まっていない人のことも考えた工夫が必要ではないでしょうか。

黒川さん

西山さんの言う通りですね。では、いろいろな区分にある「その時々話題に関する本」を一か所に

集めてはどうでしょうか。【意見】の「簡単に見つけられるように工夫してはどうか」という希望にも合います。

森本さん

一か所に集めるということについて、もう少し具体的に教えてください。

黒川さん

③書店ではよく入口付近に「特設コーナー」をつくって、本が置かれています。書店の「特設コーナー」を参考にして、学校の図書館でも入口付近に「特設コーナー」をつくって、「その時々話題に関する本」を展示してはどうでしょうか。

古田さん

黒川さんから、探している人が「その時々話題に関する本」を簡単に見つけられるように、学校の図書館の入口付近に「特設コーナー」をつくってはどうかという案が出ました。みなさん、よろしいでしょうか。

森本さん

黒川さんの提案に賛成です。「その時々話題」に興味をもった人が、図書館の新たな利用者になってくれるかもしれません。

西山さん

私も賛成です。しかし、現在、学校の図書館の入口付近には、「新刊の紹介」として本を展示しています。展示する場所が重なってしまいますね。

古田さん

学校の図書館の入口付近に「特設コーナー」をつくる、ということですが、意見が一致しましたが、西山さんから、展示場所が重なっているという課題が提示されました。展示場所の重なりをどのように解決したらよいでしょうか。みなさんの考えを聞かせてください。

森本さん

「新刊の紹介」については、これまでの「本の展示」から、新しく「ポスターによるお知らせ」に変えるなどして、「特設コーナー」の場所を確保してはどうでしょうか。

黒川さん

たしかに「新刊の紹介」の方法を変えれば、「特設コーナー」の場所は確保できますね。

西山さん

とてもよい提案だと思います。

古田さん

「新刊の紹介」の方法を変更することで、展示場所の重なりを解決するというところでまとめました

ね。「新刊の紹介」の方法については、図書委員会として「特設コーナー」についての考えがまとまったあとで、話し合いました。では、次は「その時々のお話」について話し合いたいと思います。

I

みなさんの考えを聞かせてください。

全校生徒にアンケートを実施して、今、どのような話題に興味があるのかを調査してはどうでしょうか。

西山さん
森本さん
黒川さん
古田さん

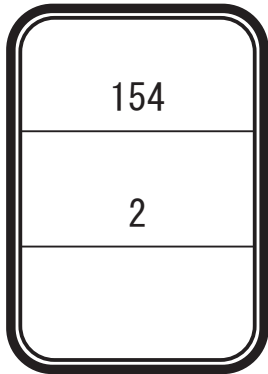
アンケートを実施することで、幅広い意見が聞けますね。

そうですね。全校生徒の意見が聞けてよいと思います。

全校生徒にアンケートを実施するというところでまともになりましたね。では、アンケートの内容について話し合いました。

1 【話し合い】中の——線部①について、次の【ラベル】が貼られている本の区分として正しいものを、【区分表】を参考にして、あとのア～エから一つ選びなさい。

【ラベル】



【区分表】

0	総記
1	てつがく 哲学
2	歴史
3	社会科学
4	自然科学
5	技術・工学
6	産業
7	芸術・美術
8	言語
9	文学

ア 哲学
イ 技術・工学
ウ 自然科学
エ 歴史

2 【話し合い】中の——線部②、③について、二人の発言には共通点があります。その共通点について説明した次の文中の□に入る言葉を漢字二字で書きなさい。

西山さんと黒川さんは、二人とも自分の□をもとに発言している。

3 【話し合い】中の□Iに入る適切な質問を、文脈に合わせて、実際に話すように、四十字以内で書きなさい。

4 次のア～エのうち、この【話し合い】の説明として、あてはまらないものを一つ選びなさい。

- ア 話し合いの方向性を示し、話し合いが円滑に進むようにしている。
- イ 話し合いで出された提案から考えられる効果を述べている。
- ウ 話し合いで出された指摘（しってき）に対する疑問点を述べている。
- エ 話し合いで出された指摘に対する改善案を述べている。

5 古田さんたち図書委員は、【話し合い】のあとに作成した次の【アンケート案】の内容について、後日、話し合いを行いました。【アンケート案】を読んで、あとの(1)、(2)の問いに答えなさい。

【アンケート案】

アンケートのお願い

図書委員会では新たな取り組みとして、学校の図書館にみなさんの興味のあることに関連した本を展示するための「特設コーナー」をつくりたいと思っています。つきましては、みなさんの興味のあることを知りたいので、以下の質問にご回答いただきますようお願いいたします。

なお、この回答の内容を他の目的で使用することはありません。

1. 今、あなたは興味をもっていることがありますか。あてはまる方に○をつけてください。

はい / いいえ

2. 前問の1. で 。
それはどのようなことですか。

ご協力ありがとうございました。

(1) 【アンケート案】 中の **II** に入る言葉を、「前問の1. で」に続けて、二十字以内で書きなさい。

(2) 【アンケート案】 中の に入る回答方式について、森本さん、黒川さんからそれぞれ意見が出ました。
あなたが黒川さんならどのような意見を述べますか。【黒川さんの意見】 中の に入る言葉を、条件に従って書きなさい。

【森本さんの意見】

私は自由記述式がよいと思います。自由記述式は回答者が具体的に意見を書くことができるという長所があるので、私たち図書委員は、回答者一人ひとりについて、興味のあることをくわしく知ることができます。



【黒川さんの意見】

私は選択式がよいと思います。



条件1 【森本さんの意見】を参考に、回答者と図書委員それぞれにとって

の利点を書くこと。

条件2 五十字以上、八十字以内で、実際

に話すように書くこと。

四

次の文章を読んで、あとの問いに答えなさい。

著作権者への配慮から掲載を控えております。

著作権者への配慮から掲載を控えております。

(佐藤卓『塑する思考』による)

1 本文中の 、 に入る言葉として最も適しているものを、次のア～カからそれぞれ一つ選びなさい。ただし、、 には、それぞれ異なる言葉を入れること。

- | | | | | | |
|---|------|---|------|---|------|
| ア | そろそろ | イ | ともども | ウ | わざわざ |
| エ | なかなか | オ | ちかぢか | カ | しばしば |

2 次の文は本文中の のいずれかに入ります。入るところとして最も適しているものを、一つ選びなさい。

つまり魅力的な「分かなさ」こそが人を「何だこれ？」と引き寄せているのです。

3 次のア～エのうち、本文中の Ⅲ に入る言葉として、最も適しているものを一つ選びなさい。

- ア 頭でデザインするのではなく、からだ身体との関係でデザインすること
- イ 身体との関係でデザインするのではなく、頭でデザインすること
- ウ 身体との関係でデザインするのでも、頭でデザインするのでもないこと
- エ 頭や身体のほかにもまだ知られていない感覚も取り入れてデザインすること



五




次の文章を読んで、あとの問いに答えなさい。

著作権者への配慮から掲載を控えております。

著作権者への配慮から掲載を控えております。

(おぎのあやこ) 荻野文子 『兼好法師 徒然草』 より一部改変

1  中の  線部を現代かなづかいに直して、すべてひらがなで書きなさい。

2  中の  線部①がさし示す内容が書かれている部分を  中から抜き出し、終わりの三字を書きなさい。

3

中の——線部②について、どのような年月と考えられますか。次のア～エのうち、最も適しているものを一つ選びなさい。

ア 上手といわれる地位の人に知られまいとする年月

イ 奥ゆかしく謙虚な姿勢であり続ける年月

ウ 稽古の道で立ち止まる年月

エ 稽古に励み続ける年月

4

本文中の A に入る言葉として最も適しているものを、次のア～エから一つ選びなさい。

ア 人に譲^{ゆず}られて、一つしかない名前をもらう

イ 人に望まれて、一つしかない名作をつくる

ウ 人に認められて、並ぶ者のない名声を得る

エ 人に助けられて、並びない名案を思いつく

5 本文中の B に入る言葉として最も適しているものを、次のア～エから一つ選びなさい。

- ア 開き直って
- イ 気を使って
- ウ ふさぎこんで
- エ 思い悩みながら

6 兼好法師けんこうぼうしが書いた『徒然草つれづれぐさ』の作品の種類として最も適しているものを、次のア～エから一つ選びなさい。

- ア 漢文
- イ 随筆
- ウ 物語
- エ 和歌

